

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

2024年 5月 23日

愛知県知事 殿

提出者

住所 愛知県みよし市黒笹町丸根1099-20

氏名 株式会社アドマテックス

代表取締役 中野 修

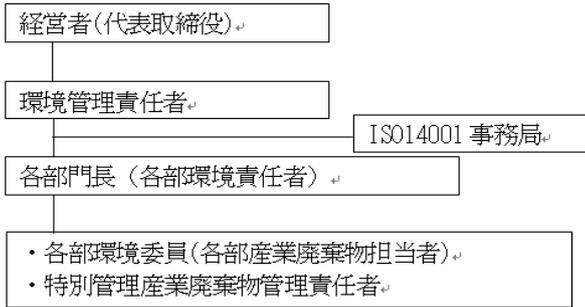
電話番号 0561-33-0215

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社アドマテックス トヨタ事業所
事業場の所在地	愛知県みよし市明知町西山1番地 トヨタ自動車明知工場内
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	21: 窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	632百万円(資本金)
③ 従業員数	92
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	陶磁器くず、汚泥: 中間処理業者へ委託(中間処理(破碎又は混練)後 路面補修材又は燃料添加剤へ再利用可能な分は再利用) 廃プラスチック: 中間処理業者へ委託(燃料添加剤として利用可能な分は再利用) 金属くず: 中間処理業者へ委託(中間処理を経て再利用用途へ) 紙くず、廃アルカリ、廃油: 中間処理業者へ委託 木くず: 中間処理業者へ委託(燃料転用できるものは燃料で再利用用途へ)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
別表1ご参照			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別表1ご参照			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 鉄屑の有価化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 有価化の継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(これまでに実施した取組)		
別表1ご参照		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">別表1ご参照</div>			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別表1”産業廃棄物の排出の抑制に係る管理体制に関する事項”及び”産業廃棄物の処理の委託に関する事項”  
排出量(t)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							水銀使用製品産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	
①現状	前年度実績	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	汚泥	廃プラスチック類	廃アルカリ	木くず	電池	蛍光灯
		排出量(t)	334.110	734.860	49.12	2.800	3.436	0.020	0.005
		これまで実施した取組	・一部有価物化 ・生産工程改善	・一部有価物化 ・生産工程改善	・一部有価物化 ・発生源の低減	・優良認定業者	・一部有価物化	・優良認定業者	・優良認定業者
②計画	今年度目標	排出量(t)	330.769	727.511	48.629	2.772	3.402	0.020	0.005
		今後実施する予定の取組	品質的に可能な範囲で有価物化の継続	品質的に可能な範囲で有価物化の継続	可能な範囲で有価物化の継続	優良認定業者の利用継続に努める	可能な範囲で有価物化の継続	優良認定業者の利用継続に努める	優良認定業者の利用継続に努める
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	前年度実績	全処理委託量	334.110	734.860	49.12	2.800	3.436	0.020	0.005
		優良認定処理業者への処理委託量	28.920	1.430	35.620	2.800	0	0.020	0.005
		再生処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
		認定熱回収業者への処理委託量	28.920	0	0	0	0	0	0
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
②計画	今年度目標	全処理委託量	330.769	727.511	48.629	2.772	3.402	0.0198	0.00495
		優良認定処理業者への処理委託量	28.631	1.416	35.264	2.772	0	0.0198	0.00495
		再生処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
		認定熱回収業者への処理委託量	28.631	0	0	0	0	0	0
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0